

第236回鳳雛講座 令和5年5月10日(水)

講師は、昨年度PTA副会長、奥羽エース警備株式会社代表取締役の田村健（たむらたけし）さんが務めてくださいました。仕事についての講話だけでなく、護身術を実際に身振り手振りを交えて披露していただいたことで、生徒は大変興味をもって聴き入っていました。講話後には、積極的に質問したり感想を述べたりする一中生の姿が見られ、充実した鳳雛講座となりました。

○講話の内容

・警備員の仕事は・・・

多くの人とふれ合う中で、「こんな仕事をしたい」と思って職業を選択すると思う。しかし、警備という仕事は決して主役にはならない縁の下の力持ちのような仕事。イメージしづらいと思う。少しでも身近に感じてもらいたいため、警棒や交通整備などの仕事道具やAED、護身術を実際に触らせてたり披露したりすることにしました。

・警備の仕事で大切なことは・・・

警備という仕事には強制力がない。周りの人に協力してもらわなければならないため、清潔感のある見た目や明るくコミュニケーションをとるなど、どの年代にも好かれる雰囲気大切。仕事上たくさんの人に関わるので、いつでも礼儀を大切にしたい。しっかりやり抜く正義感、普段から冷静沈着に動けることが重要である。

○結びに

自分(田村さん)が中学生のころ、具体的な夢はなかったが、挨拶や前向きな考えは誰にも負けない自信があった。今、自分に夢がなくても焦る必要はない。しかし、ダラダラ生活していると、夢を見つけたときに手遅れになることもある。だからこそ、他の人には絶対に負けない長所(自分の武器)を見つけて、続けることが大切。「人生の成功」は人それぞれ違う。

「あきらめない限り負けはない。」たくさんの選択肢をもつことで成功に近づくことができる。

○生徒の感想から

・講話の中で今からでも自分にできることを知った。日々の生活の中から意識していきたい。

・陰で支えてくれている警備という仕事があるからこそ、自分達の安全安心な暮らしが守られていることを改めて知った。

・警備の仕事について初めて興味をもった。将来の選択肢の一つにしたい。











